

# 生田地区少年野球大会 試合規則

## 1 使用球

大会本部で用意したナガセ健康ボールJ号とする。

## 2 塁間及び本投間

塁間距離は23.00m、本投間距離は16.00mとする。

## 3 試合ベンチ

組合せ番号の小さいチームを1塁側ベンチとする。また、ベンチに入れる人員は、選手20名以内と代表者1名、監督1名、コーチ2名、記録係1名、マネージャー1名の合計26名以内とする。

## 4 試合時間及びイニング

試合は7回戦とする。ただし、1時間30分を過ぎた場合は新しいイニングに入らない。延長戦は1時間30分以内で9回までとし、その時点で同点の場合、準決勝までは抽選、決勝は特別ルールを適用する。(抽選方法は、各チーム9人が抽選くじを引き、○の数が多いチームを勝ちとする。)

## 5 シートノック

試合進行の時間による。

## 6 コールドゲーム

3回以降10点差とし5回以降は7点差とする。ただし、決勝戦はこのかぎりではない。

## 7 ノーゲーム

雨天等により試合続行不可能となったとき、4回終了前の場合はノーゲームとし、再試合を行う。この場合他の試合予定日時を順次繰り延べることもある。

## 8 試合中の抗議

試合中、審判に異議を申し立てることは原則的に禁ずる。ただし、ルール上の説明を求める場合は監督が行う。

## 9 ファールボールの処理

一塁側に止まったものは、一塁側が拾う。三塁側に止まったものは、三塁側が拾う。捕手の後方のものは、攻撃側が拾う。

## 10 ベース

塁は固定式及び移動式を併用する。ベースは固定しないで元の位置に触れていればよい。また、移動したベースに触れていてもよいこととする。

## 11 服装及び用具

- (1) 服装は野球用ユニフォームもしくはそれに準ずる服装とする。
- (2) 背番号は、選手は0～99番以内、キャプテンは10番、コーチは28・29番、監督は30番とする。
- (3) 選手はヘルメット着用のこと。また、捕手はプロテクター、マスク、ヘルメット、ファウルカップ及びレガース着用のこと。
- (4) 金具付スパイクの使用を禁止とする。ただし、少年野球場においては、ポイントスパイクを使用できる。また、小学校及び中学校の校庭においては、ポイントスパイクの使用も禁止とし、運動靴を着用する。
- (5) チームで使用する用具は、そのチームで用意すること。

## 12 グラウンドルール

試合会場特有の「グラウンドルール」を別紙のとおり定める。

## 13 失格

- (1) 前の試合の4回までにメンバー表の提出をしない場合、または、前の試合の終了後10分を経過しても指定の場所にチーム全員が理由なく到着しない場合は、棄権したものとみなし、相手チームを勝者とする。
- (2) 参加資格要件に違反した場合は、直ちに失格とし、相手チームを勝者とする。
- (3) 監督、コーチ又はその代理等、チーム責任者が理由なく試合に出席しなかった場合は、失格となることがある。

## 14 規律の確保

試合は礼儀正しい態度でのぞみ、審判員の指示に従わない選手またはチーム関係者に対し、退場を命ずる場合がある。

## 15 その他

- (1) ボークは採用する。
- (2) コーチボックスには、選手（ヘルメット着用）が立ちコーチする。
- (3) 投手が変化球を投げることは、禁止する。
- (4) 肩への負担を考慮し、一人の投手が登板できる回数は原則的に7回を限度とする。  
(最終的には監督判断とする。)
- (5) タイムは、審判員が認めたときに成立する。

# 生田地区少年野球大会 グラウンドルール

## 三田小学校

校舎

東門

白線

生田中

- 白線を越えた場合は本塁打。  
ゴロで越えた場合は二塁打。

## 南生田少年球場

ネット

区画線

ネット

- ネットの白線を越えた場合は本塁打  
コンクリート区画線を越えた場合は本塁打。  
ゴロで越えた場合は二塁打

## 三田球場

白線

入口

- 白線を越えた場合は本塁打  
ゴロで越えた場合は二塁打

## 各グラウンド共通

- バックネット及び点線の外側を越えた場合は1個の塁をあたえる。
- 不明の場合は試合担当審判員が決定する。